

平田ロータリークラブ 週報

平成19年3月22日

No.1603

発行日 毎週木曜日

率先しよう

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド
第2690地区ガバナー 新宮彦助

△ 島根県出雲市平田町2280-1
平田商工会議所2F TEL 0853-63-3232
FAX 0853-63-5365
IP 050-5204-5816
E-mail hiratare@hit-5.net

会長 加藤喜久 副会長 田中久雄
幹事 荒木 貫 会計 金田卓也

例会プログラム

例 会	卓 話 者	演 題
第1603回	山根 貞様	「十六島」炉辺物語
第1604回	会員 佐藤 初	旬へのこだわり
第1605回	愛宕山公園 6:30~	早朝例会

出席報告

会 員 数	出 席 者 数	欠 席 者 数	出 席 率	前 回 補 正 率
48	38	10 (2)	82.61	93.33

欠席者 黒田・藤井・石橋・園山・飯塚詔・西谷・原光・三代(森山・石原恵)
来訪者 竹内(出雲南)
M U 3/15大谷・杉原・持田・園・飯塚詔・原孝・松浦・大島卓・土江・内田(家庭集会)
3/16原光・大島卓・黒田・加藤喜・荒木(出雲南)

幹事報告

- 例会変更
 - 大社RC 4/4(水) 18:30~ 花見例会 於) そば縁
 - 出雲中央RC 4/9(月) " 於) 割烹温泉 ゆらり
ビジター受付 11:30~12:30 事務局
- 3/16(金)出雲南RC創立35周年記念例会へ会長、幹事出席致しました。
- 4/5(木)当クラブは愛宕山公園において6時30分より例会を行います。

スマイル

竹内(出雲南) 久しぶりにおじゃま致しました。
加藤喜・荒木・牧野・大島卓・高砂・大島治 | スピーカーに山根様をお迎えして。
杉原・平野・佐藤・園・遠藤・原孝・渡部 | 久しぶりです。
石倉・田中久 | 山根様ようこそいらっしゃいました。再度の入会を切望致します。
大谷 | 本日のスピーカー山根さんは、小中学校の同級生です。今日の卓話を楽しみにしています。
横野 | 本日のスピーカーに山根貞様をお迎えして大歓迎です。元気でご活躍の事お喜び致します。
木佐 | スピーカーに山根貞さんをお迎えして。用事があり早退します。
飯塚大 | 山根様ようこそいらっしゃいました。お話を楽しみにしております。
普陀山より戻りました。選手は優勝し、日中の友好も深まりました。色々とお世話になり有難うございました。6月にも又、参りますので宜しければ一緒にいかがでしょうか？

4月5日例会受付当番 伊藤 義徳 ・ 遠藤 栄 ・ 藤井 巖

- | | | |
|-------------------------|---------------|--------------------|
| ★松江南クラブ(月) | ★出雲クラブ(火) | ★平田RAC(第1-3水) |
| ★出雲中央クラブ(月) 3/26(休)・4/9 | ★松江クラブ(水) | ★松江東クラブ(木) 3/29(休) |
| ★松江しんじ湖(火) | ★大社クラブ(水) 4/4 | ★出雲南クラブ(金) |

会長挨拶

昨日は「春分の日」で祝日でした。わが国の国民の祝日というのは、「国民の祝日に関する法律」によって定められています。この法律の第一条では「自由と平和を求めてやまない日本国民は、美しい風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築きあげるために、ここに国民こぞで祝い、感謝し、又は記念する日を定め、これを国民の祝日と名づける」とうたっています。「春分の日」は「自然をたたえ、生物をいつくしむ」となっています。9月の「秋分の日」は「祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ」です。尚、「春分の日」と「秋分の日」は他の祝日と違い、法律で具体的に月日が明記されず、それぞれ「春分の日」、「秋分の日」と定められ、国立天文台が毎年2月に翌年の日にちを官報で公表します。

一昨年5月にこの法律の一部が改正になり、この結果、今年から新たに4月29日を「昭和の日」として国民の祝日に加え、「みどりの日」を5月4日にすることになりました。そのため今まで年間14だったのが今年から1ふえて15になります（今まで5月4日は国民の休日ということで祝日ではない）。

また、国民の祝日が日曜日に当たるときは、その日以降で、もっとも近い平日を振替休日にするものとされました。

スピーチ

「十六島」炉辺物語

一十六島と書きウップルイと読む一

山根 貞 様



1. 十六島海苔

今から1274年前、天平5年（733年）の出雲風土記に、「およそ北海のあらゆるさぐさものは、秋鹿郡に説けるがごとし。但し紫菜は、楯縫郡尤も優れるなり。」とある。つまり楯縫郡で採れる紫菜（アマノリ）が出雲で最も優れたノリだという。この紫菜は十六島海苔を指していると考えられる。

（古代出雲博物館 専門学芸員 岡 宏二氏：大社の史話より）

2. 語源説

- (1)出雲風土記 於豆振農（ウップルイ）
- (2)朝鮮語 巨大岩石（ウルピロイ）
- (3)十六善神 十六島

3. 十六善神

昭和37年中央新報に、金関丈夫博士の「十六島漫談」が1ヶ月にわたり掲載された。塩冶に住む飯国善吉氏がこれを読み、少年の頃にお祖母さんから聞かれた十六島に関する昔話を物語風に中央新報連載で掲載されたのが「炉辺物語「十六島」」である。